

OGAクリスマスパーティー

12月11日(日)、当館にてボランティア団体OGAのクリスマスパーティーが開催され、400名の地元の方が、参加されました。当日は特別ゲストとして、元力士の**KONISHIKI**様、世界的トランペット奏者**日野皓正**様、NHKのプレクソ英会話でお馴染みの、**スチュアート・オー**様などが参加！ゲストの方々のショーがパーティーに華を添え、バラエティーに富んだ料理が振る舞われました。今年も、大抽選会が行われ、当館からは宿泊券をプレゼントさせて頂きました。外国人ボランティアの方と地元住民の絆を深める場となりました。



震災当初より活動支援を続けてきた当館へOGAより感謝状を頂きました



編集後記

お餅を食べるのも、福袋も楽しみなことずくしのお正月です♪

高田

実家からみかんが送られてきました。朝昼晩の食事がしばらくみかんになりそうです。

村上

お餅を様々な味で、食べたいです。一番はすんだ餅。オススメです！

可菜

雪国米沢生まれの私には、雪の少ない南三陸の冬は、少し寂しいです。

真木

おせち料理は栗きんとんと黒豆が好きです♡お餅もいろんな味でいっぱい食べたいです！

蛸名

仙台無料送迎シャトルバスの乗り場が変更になりました！



新しく変更になった乗り場は 仙台駅東口「観光送迎バスのりば」

以前よりも、距離が近くなり、
たくさんの観光バスが停まっているのが
一番の目印です！

時間は以前と同じ13時30分です。
事前予約制となっております。

翌朝のホテル出発は10時でございます。
ぜひ、ご利用ください！！



謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年30名の参加頂いた3月の「語り部シンポジウムin東北」を開催したことに始まり、今年1月29日に企画致します「東北被災地語り部フォーラム2017 in 南三陸」へ向けた座談会も昨年11月盛會裡に開催の語り部の人達とより一層の連携を深め、震災の教訓を次世代に伝えて参りたいと存じます。

「震災を風化させない為の語り部バスの取り組み」につきましては「第2回観光王国みやぎおもてなし大賞」特別奨励賞を受賞、第4回「富県宮城グランプリ」では「地域産業革新部門賞」を受賞致しました。おもてなし大賞は交流人口の増加と観光客のリピーター化に繋がる「おもてなし」として評価され、昨年「南三陸てん店」富県宮城グランプリは語り部バスにおいてタブレット端末を活用し、外国人観光客向けの多言語ガイドシステムの構築に取り組みている点や、客層の開拓、ガイドの育成など震災風化防止のみならず雇用創出に貢献していること、地域資源を活用し新たな魅力を発信し、自社のみにとどまらず地域経済全体の活性化に大きく貢献していることが評価されました。

今後新しい試みに挑戦し続けながら復興を目指してスタッフ一丸となり歩んで参ります。皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。本年も皆様のご来館を心よりお待ちしております。



おもてなし大賞



富県宮城グランプリ



株式会社阿部長商店 南三陸ホテル観洋
代表取締役副社長 阿部 隆二 郎

客室から望む日の出

当館からご覧頂ける日の出は季節により位置が変わります。正面から顔を出すのは3~5月、8~10月頃です。客室やロビー、大浴場からもご覧頂けますので是非お越し下さいませ。



12/15の日の出

11月14日スーパームーン

2016年11月14日の月は「スーパームーン」と呼ばれ、68年ぶりとなる超接近でした。当館からもご覧頂く事ができ、天体望遠鏡を使い、お客様に月を身近に感じて頂くイベントを開催しました。当館では日の出だけでなく、月の出もどうぞお楽しみ下さい。



まるで太陽が昇る
かのような月の出

検索してください♪



フェイスブックでは別アングルの写真やイベント毎の写真を多数ご紹介しております！
ツイッターでも「本日の一枚」毎日掲載中です♪

振袖と袴で記念撮影会!!

これからの卒業シーズンには、
当館で袴を着て写真撮影はいかがでしょう？
今後、宿泊プランにと思案中です！

海外からのお客様へ、
気軽に着物をお楽しみ頂くため、
卒業旅行など友達同士で素敵な思い出を作って頂くため、
そして地域を元気にするため、着物を着た撮影会を行いました。



今回の撮影会は、震災で被災した当館と、
この趣旨にご賛同頂いた、
町内にある美容院「ビューティーサロン京子」の京子先生と
気仙沼の貸衣裳屋さんである「藤仙」さん、
2社のご協力のもと実現しました。これからもその輪をもっと広げて
地域経済の活性化につなげて参りたいと思います。

中国人実習生の3人は
仲良く袴姿で撮影です♪

当館敷地内にある
「弁天堂」でお参り。

屋上で「はいちーず!」
撮影スポットがたくさん♪

海が見えるラウンジで
忘れられない1枚を!



当館保育所

七五三
参拝

お友達と仲良く
遊べますように!

クラスごとに作った個性豊かな千歳あめの袋を持って、
ホテルの弁天様へ
お参りしてきました!
偉大な神様に、しっかりお願いを聞いて
もらおうと、手を合わせてお祈り...

元気に大きくなります
ように...

美味しいものが
いっぱい
食べられます
ように(*・u・*)

いい子にしてください!

海のほとりの弁天様に見守られて、
これからはぐすく成長しますように(*・u・*)



マリンパルのお庭では、たくさんの落ち葉が!



ステキな葉っぱのお帽子もできました♪
冷たい風になげず、みんなげんきいっぱい!

☆今月のお誕生

今月のお誕生会
主役はラッコ組のMちゃん!



1歳の誕生日おめでとう☆シ



三陸被災地語り部座談会

11月23日(水)に開催された「三陸被災地語り部座談会」。
被災各地の語り部の方々、そして全国各地から多くの方々にお集まり頂きました。
この度の座談会は、2017年1月29日に予定されている「東北被災地語り部フォーラム2017」開催に向けての
集いと言うことで、現状から未来を見据えた様々な意見が交わされました。



語り部の方は陸前高田、大船渡、気仙沼、本吉、南三陸町、石巻、女川から参加され、
それぞれの代表が5分間程で現状を踏まえた今後の課題の提起をされました。
地域の町づくりの方針や、震災遺構の有無、復興の進捗状況など、各地域によって様々な課題があります。
7地域の語り部の話を比較しながら聞くことができる貴重な機会とあって、
参加者の皆様はそれぞれ熱心に耳を傾けていました。
「これから語り継ぐためには」、被災地の現状を知ってもらい、様々な視点から考えていく必要があります。
そこで今回の座談会では、一般の方の意見を積極的に聴くために、語り部の話を踏まえて、
参加者の皆様に疑問や提案を投げかけて頂く時間を設けました。

「震災遺構」、「語り部の後継者問題」、「国際性」、「継続性」など、
様々な視点から提案や疑問点が提示され、
1月29日の東北被災地語り部フォーラム2017に向けて、
同じビジョンや課題を共有することができました。

最後に、今年3月に行われたシンポジウムでも講演して下さいました
結城登美雄先生より、アドバイザーとして全体統括のお言葉を頂きました。
震災から6年目を迎えようとしている今、
求められている被災地の支援策とは何か。結城先生の民俗研究家としての視点から、
東北地方の農漁村の復興のために必要なことはなにか、考えさせられるお話でした。
この度の座談会では、同じ東日本大震災を経験した語り部の各地域からの経験・考えを
一度に聞ける場とあって、話を聞いて知るだけでなく、
地域差を比較しても新たな問題点や課題を知ることもできました。
メディアからの情報だけでは復興の地域格差や課題などは報道されず、また現地に立ち寄っても
外部からの目線ではわかりにくいこと、訊きににくいことも、様々な地域の現状を聞いて比較することで
より課題が浮き彫りになったように感じました。
特に行政の動きや考えなどは、復興の進捗に大きな影響を与えていると感じられ、
それは現地の語り部の口から聞かなければ知ることができないことでした。
参加者だけでなく語り部にとっても、
他地域の現状を一堂に会して聞いて話し合うことは重要な場と考えられます。
今回の座談会を経て、1月のフォーラムでは地域間での連携や自地域ですでに取り組んでいることを
他地域に提案するなど、語り部活動が次の段階に進むための
より具体的な内容が話し合われればと思います。
「三陸被災地語り部座談会」に参加された皆様に、心より感謝申し上げます。



東北被災地語り部フォーラム2017 開催決定
～10年・100年・1000年先へ届け、私たちの伝えたい思い～

【日時】2017年1月29日(日)13:00～

【会場】南三陸ホテル観洋および南三陸町内

【定員】先着150名(参加無料)

申込方法やプログラム等、順次ホームページにて更新予定でございます。ぜひご参加くださいませ。